

社会福祉学 専攻 _____ 領域 (博士前期/修士・博士後期・前後期共通)

試験科目： 専門科目 (_____)

以下の設問から3問を選択し、論述しなさい。

1. 社会保険と民間保険の違いについて説明しなさい。ただし、給付・反対給付均等の原則、収支相当の原則の意味を説明しながら、文中で必ず用いること。

(解答例)

以下の①～③の記述内容と文章の論理性・整合性を評価ポイントとする。

- ① 社会保険と民間保険の基本的な違いの説明がなされているか
- ② 給付・反対給付均等の原則と収支相当の原則について適切に説明されているか
- ③ 上記の2つの原則を用いて、社会保険と民間保険の違いを論理的に説明できているか

2. 「ジニ係数」の定義とその指標の意味について説明しなさい。

(解答例)

以下の①と②の記述内容と文章の論理性を評価ポイントとする。

- ① ジニ係数の定義を正確に説明できているか。解答に、「所得分配の不平等度を測る指標」、ローレンツ曲線と完全平等線との面積を用いて算出されることの説明、値が0～1の範囲をとる指標であることなどが含まれているか
- ② 指標の意味(値の大小が示す内容など)を説明できているか

3. 「地域共生社会の実現」は、近年の社会福祉政策における中心的な理念の1つである。この理念に基づく具体的な制度や政策を挙げ、その特徴と課題を分析しなさい。

(解答例)

以下の①～③の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

- ① 地域共生社会の理念に基づく制度・政策を具体的に挙げられているか
- ② 挙げた制度・政策の特徴が具体的に説明されているか
- ③ 制度運用上の課題が分析されているか

4. 福祉政策の形成には、行政、政治家、専門職、研究者、市民などさまざまなアクターが関与する。あなたが関心を持つ福祉制度を1つ選び、それが形成・改正された過程を政策過程論の観点から説明しなさい。あわせて、今後の政策形成における住民参加のあり方について、述べなさい。

(解答例)

以下の①～④の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

- ① 具体的な福祉制度を1つ選び、その制度を明示できているか
- ② 政策過程論の観点から形成・改正の過程を説明できているか
- ③ 多様なアクターの役割とアクター間の相互作用が述べられているか
- ④ 今後の政策形成における住民参加のあり方が論じられているか

5. 批判的理論を用いて、社会福祉制度が再生産する格差について分析し、ソーシャルワークの介入可能性について論じなさい。

(解答例)

以下の①～③の要素と、論述の構成、表現の的確さ、全体の整合性を評価ポイントとする。

- ① 批判的理論の理解
批判的理論の基本概念的説明。社会福祉制度の分析への理論の応用
- ② 社会福祉制度が格差を再生産する構造の分析
制度の歴史的・構造的背景を踏まえた分析。制度が持つ排除・選別・規律化のメカニズムの具体的説

明。格差再生産のプロセスと理論を結び付けた説明

③ソーシャルワークの介入可能性の検討

個人レベルの支援における構造的アプローチ。コミュニティ・組織・政策レベルの介入。批判的理論に基づく実践の方向性

6. ソーシャルワーカーの倫理的ジレンマの例を一つ挙げ、その背景と対応のあり方について、関連する倫理綱領や理論に言及しつつ述べなさい。

(解答例)

以下の①～③の要素と文の整合性を評価ポイントとする。

①ソーシャルワーカーが直面する倫理的ジレンマの具体例を明示しているか。例としては、「「クライアントの自己決定の尊重」と「生命の保護」の対立」「「プライバシー・秘密保持」と「第三者への安全確保」の相反」等

②関連する倫理綱領や理論を引用しているか。「ソーシャルワーカーの倫理綱領」や「ドルゴフとローウェンバーグの倫理的指針選別順位 (Ethical Principles Screen; EPS)」等を取り上げているか

③上記①②を踏まえたうえで、どの倫理的原則を優先するか、またその根拠は何かについて明示しているか

④文の整合性

7. ケースワーク発展の歴史における診断主義学派と機能主義学派の関係について述べなさい。

(解答例)

以下の①から③の要素と文章の論理性を評価ポイントとする。

①ケースワークの発展期に診断主義学派と機能主義学派が現れた歴史的背景について述べられているか

②診断主義学派と機能主義学派の理論的特徴について正しく述べられているか

③両派の対立がどのような形で収束していったのかが述べられているか

8. 「病院完結型医療から地域完結型医療への転換」の意義と課題について、医療法改正の変遷をふまえたうえで、説明しなさい。

(解答例)

以下の①～③の要素と文の整合性を評価ポイントとする。

①病院完結型医療の特徴と課題を明示すること。

これまでの病院完結型医療では、医療機関で中長期の治療を継続することや、医療機関で終末期を迎えることがあった。これは専門的医療を継続的に手厚く受けることができる一方で、患者が望む場所（例えば自宅等）での療養ではない可能性があった。また、医療費の逼迫につながっていたことや、長期入院による病床逼迫と他患者の受療機会の制限等が課題とであった。

②地域完結型医療への転換の意義と課題を説明すること

上記①を背景に、昨今、地域完結型医療への転換がはかられてきた。しかし、受け皿としての制度やサービス等が不十分であるために患者が望む療養にはつながらなかった。また、介護者の負担が増大することや、介護費用が逼迫し始めたこと等の課題がある

③上記①②を説明する際に、医療法改正の変遷に言及すること

特に2014年の医療法改正の病床機能報告制度及び地域医療構想の導入に触れていること。また、2023年改正のかかりつけ医機能の制度整備に触れていること

④文の整合性

問1 以下の英文のうち、***で挟まれた部分を日本語に訳しなさい。

（解答例）

専門職として、ソーシャルワーカーは、多様な個人やコミュニティをエンパワーするための手段を行使し、社会的・政治的課題についてアドボカシーを行い、連携を構築する役割を担っている。2017年に全米社会福祉教育協議会が行った分析によれば、社会福祉分野におけるアジア系アメリカ人の代表性は著しく低く、その年に社会福祉学修士（MSW）を取得した卒業生のうちアジア系アメリカ人はわずか3%、社会福祉学学士（BSW）取得者では1.9%にとどまっていた。このような不均衡な少数派の代表性は現在も顕著であり、2023年時点で、全米の有資格ソーシャルワーカーのうち自らをアジア系と認識している者は3.3%にすぎず、非ヒスパニック系白人と認識している者が多数派（58.5%）を占めている。アジア系アメリカ人ソーシャルワーカーの数は少ないものの、地域での社会的な活動や臨床ソーシャルワークに関わる、アジア系の移民としての背景をもつ専門職は、地域の回復力や持続力を高め、文化的配慮に基づくヘルスケアの取り組みを主導するうえで重要な役割を果たしてきた。これらの取り組みは、文化的に適切で多様な解決策を生み出し、黒人、先住民、有色人種およびアジア系アメリカ人、ネイティブ・ハワイアン、太平洋諸島系コミュニティの人々（AANHPI）の生活を改善する変革的な変化をもたらしてきた。

憎悪や差別の影響は、身体的・言語的攻撃にとどまらず、さまざまな問題に及んでいる。制度的な課題——たとえば、援助要請のスティグマ化、メンタルヘルスにかかわる偏見、西洋化された保健ケア政策など——は、アジア系アメリカ人が文化的に適切なケアを受けることを妨げ、メンタルヘルスに関する対話を阻害している。実際、AANHPIの人々は、非ヒスパニック系白人と比べて、医療サービスの利用率が著しく低いことが知られている。マイクロアグレッションや人種差別は、言語の壁をもつ人々や医療制度に不信感を抱く人々にとって、受診を思いとどまらせる要因となる。さらに、研究や教育においてAANHPIコミュニティ内の人種・民族集団を一括りにすることは、既存の健康格差やコミュニティ固有のニーズについて不完全な理解をもたらす。一貫して、西洋的政策は障壁として機能し、反アジア的レイシズム、差別、憎悪を永続させていることがわかる。

問2 以下の英文は、社会的ニーズ（social needs）について説明したものである。これを読み、社会的ニーズとはどのようなものか述べなさい。ただしその際、関連する概念との違いやニーズの分類についても言及すること（字数制限なし）。

（解答例）

社会的ニーズは、人間の生存に不可欠な要素を指すニーズであり、単なる個人の経験を超えて、集団や共有された生活条件、社会構造によって規定される側面を持つ。つまり個人の主観的観点から見れば必要であると認識されていなかったとしても、集団・地域・社会として見れば必要と考えられるようなニーズである。例えば、予防接種などはこのような社会的ニーズの一例としてあげることができよう。

このような特性を持つニーズの概念については、欲求や選好などの関連する概念との違いを踏まえるとその特徴をより明確に捉えることができる。たとえば、欲求はより包括的な概念で、人は不要なものを欲しがったり（マーケティングの影響）、必要なものを欲しがらなかったり（無知や嫌悪）する。それに対してニーズはより基本的・本質的なものである。また、「選好」は購買行動で示されるが、ニーズは金銭的余裕がない場合や本人が必要性を認識していない場合、市場行動だけでは把握できない。このようにニーズは客観的な視点から規定される、あるいは発見されるという側面を持つ。

このニーズの概念については、いくつかのタイプに分類することができる。第一に、実感されるニーズがあり、本人が自覚しているもの（病気や事故など）がこれに該当する。第二に、規定されたニーズがあり、専門家（医師・教師）や家族など、他者によって定義されるものがこれに当てはまる。そして第三に、比較ニーズと呼ばれるものがある。これは調査等で判明するもので、他者との比較において相対的な欠乏状態のことを指している。